

# 岡山県支部 11 月例会(現地見学会)報告

## —高梁川水系小田川合流点付替工事他—

西日本高速道路エンジニアリング中国(株) 川上隆三  
技術士(総合技術監理・建設部門)



### 1. 開催概要

- (1)公益社団法人日本技術士会 中国本部 岡山県支部 主催
- (2)日時：令和 5 年 11 月 10 日(金) 12:00~17:00
- (3)見学場所：一級河川高梁川水系小田川合流点付替工事現場
- (4)スケジュール

- 12 時 00 分~13 時 15 分 岡山駅~現地(大型バスで移動)
- 13 時 15 分~15 時 00 分 小田川合流点付替事業概要説明
- 15 時 00 分~15 時 15 分 現場移動
- 15 時 15 分~15 時 45 分 小田川合流点付替工事現場見学
- 15 時 45 分~17 時 00 分 現場~岡山駅・解散

### 2. 参加者数

合計 21 名

### 3. 見学会

#### (1)小田川合流点付替事業

平成 30 年 7 月豪雨では、高梁川水系小田川沿川の倉敷市真備町において、堤防の決壊や越水等により甚大な被害を受けました。小田川合流点付替事業は、現在の柳井原貯水池を活用し、高梁川との合流位置を約 4.6km 下流へ付替え、小田川沿川地域及び倉敷市街地における治水安全度の向上を図るものです。

まず最初にインフォメーションセンターにおいて、高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所の濱本副所長から事業概要説明をしていただきました。事業概要説明では、当初概ね 10 年間で実施予定の小田川合流点付替事業を概ね 5 年間に前倒しをしたこと。河道掘削土砂約 30 万 m<sup>3</sup>は、改良して、全て堤防強化工事等に活用したこと、また、ハード対策のみならず「マイタイムラインの作成支援」や「防災に関する講習会」の開催等ソフト対策にも取り組まれたことなどの説明をいただきました。

次に施工会社担当者から工事現場の DX の取り組みとして、日々変化する建設現場を定期的な UAV 測量によるアニメーション動画や ICT 施工による水中掘削などの紹介をしていただきました。



インフォメーションセンター外観



事業概要説明

## (2)現場見学

事業概要説明の後、建設現場に移動しました。上流側から高梁川と小田川の現合流点付近まで徒歩で見学しました。

あいにくの空模様ではありましたが、護岸の施工状況、洪水時の水位を下げるための河道掘削状況、また、掘削土量約 100 万 m<sup>3</sup> におよぶ南山の掘削状況等も望むことができました。スケールの大きい現場でしたが、最新の現場状況の写真や、現場の移り変わりをアニメーションで分かりやすく説明していただいていたので、現場で事業の全体像を理解できました。

また、日々変わる現場状況については、UAV による点群測量を重ね合わせ変化が見えるよう、事務所ホームページで公開する準備を進めているとのことでした。



現場見学状況



現場説明状況



護岸施工状況



南山掘削状況を望む

## 4. おわりに

小田川合流点付替事業は、緊急性の高い大規模プロジェクトであり、施工にあたっては BIM/CIM の活用や ICT 施工など最新の DX 技術により、関係者等との合意形成を図りつつ、円滑にかつ安全に工事が進められていることを実感いたしました。

高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所の濱本副所長には、業務ご多忙の中、見学の準備段階からご指導をいただきますとともに、事業概要説明、現場での工事説明等わかりやすく丁寧なご説明をいただき、事業に対する理解を深めることができました。ここにご尽力いただきました皆様に厚く御礼を申し上げます。今後、本事業が無事故に完成することを祈念しています。